

ペットボトルで季節の花をアレンジ

～家にある物を使って季節のアレンジ【ペットボトル（横バージョン）】～

作成者：株式会社フローレ21 高杉揚子

- 対象者・人数：幼児、年長～小学生15～20名
(参加人数によって所要時間とスタッフの人数が変わってきます)
- 所要時間：1時間～1時間30分(年齢によって異なります)
- 指導者・アシスタント人数：指導者1名、スタッフ1～2名
- 実施場所：児童センター、小学校、イベント



- 資材：
 - ・ペットボトル500ml ふた(キャップ)付きの四角い形の物(横にして使用するので、必ずふたを忘れずに!)
 - ・カッター
 - ・工作用ハサミ
 - ・切花用のハサミ



ペットボトル 500ml



切花用ハサミ

- 花材：
 - ・季節の花を選ぶことにより春夏秋冬オールシーズン対応できる
 - ・一人、5～6本ぐらい選べる本数・種類を用意する
 - ・事前に水揚げをして、花を元気な状態にする
- ※季節の花
 春=チューリップ、スイトピー、マーガレット、ガーベラ 等
 夏=ひまわり、アワ、クルクマ 等
 秋=ケイトウ、リンドウ、ワレモコウ、オミナエシ 等
 冬=ヒバ、サンキライ、松かさ 等



ヒマワリ



ヒベリカム



デルフィニューム



マルバルスカス

【指導内容と目的】

- ・フラワーアレンジを教えるのではなく、花を通して子どもたちに植物との関わり、季節の花、命の大切さ等を伝える。
- ・サンプルは用意せず、花を自由に選び、自由にアレンジを行う。この事で、個性豊かな作品に仕上がりと達成感が育まれる。
- ・花に触れる楽しさ・喜び・本物の感動を伝え、花好きの子どもを増やす。

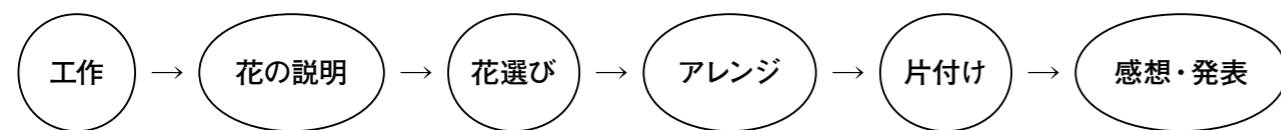
【対象者への配慮】

- ・ペットボトルを横にして使うので、四角い形のペットボトルが良い。丸型だと、転がってしまう。又、炭酸飲料のペットボトルはとても硬いので、使用は避けたほうが良い。花を入れる場所を作る時、ペットボトルに穴を開ける為カッターやハサミを使用するので、幼児・小学生の低学年には、大人の補助が必要となる(事前に、お家の方に手伝ってもらって、切ってきたペットボトルを持参してもらいと、当日進めやすい)。
- ・花を切る時はなるべく切花用のハサミを使用する。工作用のハサミだと、切りにくく、茎がつぶれてしまう事がある。切花用のハサミを使う前に、必ず、ハサミの扱い方、花の切り方について説明すること。
- ・花の紹介・説明をする際、子ども達が分かりやすい言葉を選び、興味を持ってくれるような話し方や説明(特徴・名前の由来・産地・花びらの形等)が良い。また、花の特徴を知ってもらうため、必ず紹介した花を全員に渡して、花の香り・感触を確かめてもらう。

1. 当日の流れ

時間(所要時間) 1時間～1時間30分(年齢によって異なる)

手順



※事前にペットボトルに、花を入れる穴をあけておくと良い。

指導ポイント

- ・家にある物を使用して、簡単に季節の花をアレンジ。
- ・花器がなくても、家にある物を工夫すれば、オリジナルの花器ができる。
- ・自分達で作ったオリジナルの花器に、好きな花を活けることで、花を飾る楽しさ、花の生命を感じてほしい(水の色がひと目でわかるので、水換えをこまめにし、長く楽しむ方法を知ることができる)。

2. 時間配分

- ① 花器工作 10分
ペットボトルに花を入れる場所をカッターで切る
- ② 花の種類についての説明 10分
子供たちに香り・感触を楽しんでもうら為、花を全員に回す
- ③ 花選び 10分
- ④ アレンジ開始 10分～15分
- ⑤ 片付け 5分
- ⑥ 「花レシピ」に選んだ花の名前を記入 5分
- ⑦ アレンジ発表・感想 5分

3. フレームワーク

① 準備

- ・バケツに水を入れて、花材を並べる。
- ・花の名前カードを用意
- ※幼児・小学生低学年の場合、バケツに貼り付ける花の名前はひらがなで書く。
- ・カッター・工作用ハサミを用意
- ・切花用ハサミの用意



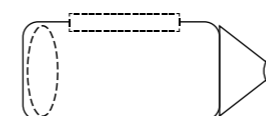
② 挨拶

今日のアレンジの内容やテーマ等を説明。



③ ペットボトルで花器を作る

四角い500mlのペットボトルに、花をアレンジできるよう、上面にカッターで穴を開ける。一箇所でも2箇所でも良い。



上面全部を切り抜くのではなく、まん中一箇所や2箇所を切り抜く



④ 花の名前・特徴を紹介(産地・名前の由来・花びらの形等)

花の名前は事前にバケツに貼り付けるのではなく、「この花の名前を知っている人!」等と、子ども達に質問して答えてもらう。その後、花の名前・特徴について話しながら、バケツに名前を貼り付ける。必ず、紹介した花を全員に渡して、花の香り・感触を必ず確かめてもらう。



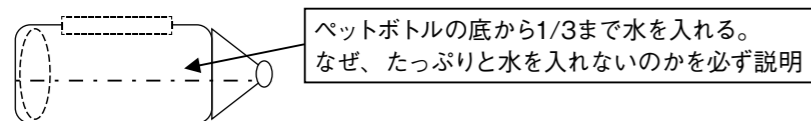
⑤ 花を選ぶ

選ぶ本数を決めて、子ども達に好きな花を選んでもらう。その際、花の取扱について説明する。(どんな事したら花は折れてしまうか。花の性質、さらに花の気持ちを考えてもらう)



⑥ 花器に水を入れる

全員が花を選んだら、ペットボトルの花器に水を入れる
 その際、水の量について説明する。



⑦ 花の切り方を説明

- ・普段使用している工作用のハサミより、「良く切れる!」という事を説明
- ・右利きと左利きにと分けて説明。
- ・花の置き方・向きを説明 (右利きの場合、花の顔 (咲いている方) を左向き横にして置くと、持ちやすく切りやすい。左利きの場合、右利きと逆に置く)。
- ・子ども達と同じ向きになり、花 (茎) を持って、どうやってハサミで切るかを見せる。

⑧ 花の挿し方・アレンジの仕方を説明

- ・花器に対しての長さを教える (どの位の長さできるか)。
- ・水に浸かる部分の葉は取る (なぜとるかを説明)。

⑨ アレンジ開始

⑦～⑧の事に気をつけながら、自由にアレンジを楽しんでもらう。
 なるべく、アレンジに対して、注意や意見をすることは控える。
 注意することは、⑦～⑧のみ。これ以上注意してしまうと、
 子ども達のやる気をなくしてしまう。温かく見守ること。

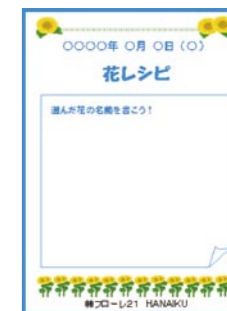


⑩ 片付け

- ・アレンジが終わった子ども達から、机の上、床のゴミを片付ける。
- ・ゴミ袋に捨てる時は、茎をなるべく短くして捨てることを教える。
 (ゴミ袋から茎が飛び出て、ケガをしたりすることがある)
- ・茎を短くする際、ハサミで切る場合は注意が必要。
- ・ハサミを持って、ゴミ箱まで来る子がいるので、ハサミを持ち歩かないよう注意をすること。

⑪ 「花レシピ」を記入

自分で選んだ花の名前を記入してもらう。
 花の名前を覚えてもらう為、また、お家に帰って家族と花の名前等について話せるように。



⑫ 発表・感想

アレンジの発表、感想を聞いてみる。
 「今日、好きになった花は?」「どんなイメージで作ったの」「どこに飾る?」等、感想も聞いてみる。



⑬ 終わりの挨拶

- ・花が咲く楽しみ、水を換える方法等を説明。幼児・小学生低学年には「今日からこの花達のお母さんとお父さんになります。きれいに長くお花を楽しむ為に、お世話をしあげて下さい。」と話す。
- ・皆で拍手をして終了

参考：花レシピカード (A6サイズ)

